

理窓会 千葉支部 教職員部会 会報

第51号

『あたたかい理窓会の先生方とともに』

理窓会千葉支部 教職員部会会長

千葉県立船橋法典高等学校長 坂野 直人



私が理科大に入学したのは、昭和五十六年四月です。入学式の日、千鳥ヶ淵の桜が、満開で、その美しさに感動したことを覚えています。理科大が百周年で、真新しい一号館が完成し、一年生の中から実験等を使用することができました。また、百

周年事業の一つとして、ある日、その場にいた学生一人一人に提灯が手渡され、神楽坂を行列した後、三号館一階で大きな樽から酒がふるまわれました。日本武道館の地下で稽古していることにひかれ、合気道同好会に入りました。稽古で、夏までに7キロ体重が減りました。二年生の時、体育局合気道部に昇格し、三年生の時に、全日本合気道演武大会大生部の部に代表で出場することができました。今でも、日本武道館一階の畳の上に立った時の会場の広さとライトのまぶしさを覚えています。

千葉県の公立高校の教職員となり、船橋芝山高校に勤務しているとき、大竹先生からお声をかけていただき、理窓会に参加させていただきました。

平成十五年度から八年間事務局名簿係、平成二十三年度から三年間事務局会計係を務めさせていただきました。初めて事務局として参加した時は、懇親会の後、小倉会長に連れられて大勢で、鯉淵先生の御自宅に行き、鯉淵先生と奥様のあたたかい歓迎を受けて、楽しいひと時を過ごさせていただきました。理窓会は、しっかりとした教育理念を持ち、親身になって後輩に語りかけてくださる情熱を持った素晴らしい先輩方とのふれあいができる場でありました。

平成二十三年度に事務局会計係になったとき、総会に提出する会計資料を上手く作成できませんでした。その時、会長の宮崎先生が、千葉女子高校の校長室に招いてくださり、一緒に資料作成をしてくださりました。あたたかい御指導・御支援に感謝するとともに、千葉女子高校長であり教職員部会長というお立場でありながら、教職員と一緒に仕事に携わる姿勢に感動いたしました。私は、校長になってから、登校時の挨拶・駐輪場における自転車の整頓・服装指導そして下校指導等を毎日、教職員と一緒にしています。それは、この時の宮崎先生のお姿から学んだものです。

が私のすぐ左側を歩いておりました。すぐに「大村先生、理窓会の坂野と申します。」と言うと大村先生は、「そうかい、そうかい。」と言って笑いかけてくださり、駐車場のバスまで御一緒に話をさせていただきながら歩くことができ、感動しました。理窓会の絆を感じた、とても良い思い出です。

船橋法典高校長となり、千葉県高等学校長協会学校改善特別委員会の主査を務め、東京都立日比谷高校と大山高校を訪問しました。日比谷高校長も理窓会の方で、何度かメールや電話で連絡を取り、話をさせていただきました。このとき学んだことを、「船橋法典高校は『人づくり』をする場である」という学校経営の軸に加えて、生かしていきましました。文科系部活動や授業等の活性化と生徒の進路実績の向上に役立っています。

二十一世紀は、知識基盤社会と言われており、社会の在り方そのものが現在とは劇的に変わるとされる Society 5.0 時代の到来が予想されています。私たちは、この変化の激しい時代をきり拓いて力強く生き抜く生徒を育成していかねればなりません。その時、皆さんを勇気付け、希望を与え、共に歩んでくれる理窓会の先生方の支えがあれば、どんなに心強いことでしょうか。いつも、総会等に参加されている方はもちろんのこと、参加した経験の

無い方も、お気軽に総会等に御参加ください。コロナ禍等で大変な時こそ、理窓会教職員部会の力を合わせて、千葉県の教育を発展させていく時だと思えます。新しい力をお待ちしております。一緒に頑張りましょう。

令和二年度
理窓会千葉支部 総会報告

例年は八月後半にホテルポートプラザちばを会場として理窓会千葉支部総会が開催されますが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施することが出来ませんでした。それに伴い、書面による総会を行うことになりました。

議事は

- ① 令和元年度事業報告・決算報告
- ② 令和二年度事業計画案・予算案
- ③ 新役員の承認について
- ④ 新地区理事の承認について
- ⑤ 新事務局員の承認について
- ⑥ 新顧問の承認についての6件です。

教職員部会長として、坂野直人部会長、副部会長として根本巖副部会長、益子孝嗣副部会長、堀真樹副部会長、

風戸正副部会長、梶原幸之介副部会長が選出された。
令和元年度の事業報告・収支決算・会計監査報告、令和二年度の事業計画・収支予算、新支部役員協議案についても全て承認されました。

令和元年度一般会計決算

	予算 (円)	決算 (円)
収入	205,118	183,132
支出	205,118	183,042
収支	0	90

令和2年度一般会計予算

	予算 (円)
収入	83,090
支出	83,090
収支	0

収支残高は令和2年度へ繰り越し

令和元年度事業報告

事業	期日・会場	内容
1. 事務局会議	5/11 (土) ポートプラザちば	役員会・総会の準備等
2. 役員会	6/9 (日) ポートプラザちば	総会の議題及び実施要項
3. 研修会	7/27 (土) ポートプラザちば	研修会・懇親会
4. 総会・講演会・懇親会	8/24 (土) ポートプラザちば	桂歌助先生による講演他
5. 会報発行 (第50号)	3/1 (日) -	部数700部, 従来通り

令和2年度事業計画

事業	期日・会場	内容
1. 事務局会議	中止 資料配付のみ	役員会・総会の準備等
2. 役員会	中止 書面による役員会	総会の議題及び実施要項
3. 研修会	中止 資料の送付	研修会・懇親会
4. 総会・講演会・懇親会	中止 紙面による総会	桂歌助先生による講演他
5. 会報発行 (第51号)	3/1 (月) -	印刷とWeb公開を併用

紀壽

白銀彦太郎翁に御礼

顧問 水野 澄



白銀彦太郎翁令和二年八月長逝された。慶祝叙勲の栄であるべきが驚天動地、謹んで哀悼の誠を捧げます。先生は理窓会千葉支部第三代支部長として初代景山先生はじめ先達と員の発掘や活性化に尽力、その存在と活力を内外にアピールされました。

若くから教科・生徒指導、学年運営や学校経営などで斬新さを発揮され昭五三年新設津田沼高校で音楽コース、弓道部(和弓・洋弓)の開設など校風づくりが話題となったものです。演劇では県高校演劇部や県アマチュア演劇連盟会長として全国的に活躍、高校演劇五十年史「舞台裏今昔

物語」高校演劇史「懐かしい青春記録、私の高校演劇、アイルランドと日本を巡る視座」などの足跡が輝きます。定年後は母校東京理科大学で教職課程指導を担当され、教育実習から就職、研修など実践を通じた懇切な指導は教職現場にまで及んだ。旧担任を囲むクラス会(平成一七年)足下が危ないため先生(九四歳)居住老人クラブ近くの寿司屋で(千葉東同窓会誌)など教え子にも慕われ、ご夫妻を囲む輪広く、面倒見の良さから人生の伴侶までお世話になった方も多い。



コロナ禍と理窓会

事務局長 飯島 章

この一年、新型コロナウイルス感染症の影響で学校現場は大きな変化

を余儀なくされました。特に3ヶ月に及ぶ休校が続いたときには、目の前に生徒がいない状況でどのように学習を進めるのか、初めての事態に戸惑いを覚えつつ、とにかく工夫して学習を支えていこうと努めました。オンラインでの学習はどれほどの価値があったのかはわかりませんが、休校期間を終えて生徒が登校しはじめると、授業を進めていく中で一定の効果はあったのだろうと安堵したことを覚えています。また休校に伴って導入されたコラボレーションプラットフォーム(ファイルの共有や通信、会議などを行うアプリケーション)により、課題の提出や情報共有は飛躍的に進歩しました。感染による負の影響は甚大でしたが、それ以上に働き方や学び方が変わっていくことはかえって良かったと実感しています。

一方で理窓会の活動はというと、こちらは大変難しい状況に置かれています。会員一同が集まり、顔を合わせながら食事を共にして旧交を温める。これこそが同窓会の目的であることから、集まることも、食事をすることもできない状況では、同窓会の主な目的が果たせないことになりました。書面やオンラインでの会議は可能ですが、最も大切な「飲みニ

ユケーション」(死語かもしれませんが・・・)ができないのは痛いことです。令和3年度も当面は会うことも食事をすることも厳しいと思います。大分先になつてしまいかも知れませんが、令和4年度にはワクチン接種が広まってコロナ禍が終息し、会合や会食も復活できるのではないかと予想しています。毎年会合を楽しみにしている会員の皆様には来る日が来るまでお待ち頂くこととなりますが、事務局もそれまでは、コロナ禍のできることをしていく所存です。

会合ができないために会員の情報交換も進まず、今号の会報は例年の半分の紙面となっております。次号も恐らく同様の形になると思います。会合ができない分、会報にて会員各位の御活躍を本紙で紹介できればと思います。お近くに御活躍の会員がいらつしやいましたら、是非ともご紹介いただきたいと思っております。寄稿をお待ちしています。例えば、「新採用の理窓会員がいます」、「何かの賞を受賞しました」、「〇〇の研修に参加しました」、「来年退職します」、「若い者に渴を入れたい」……などです。どうぞよろしくお願います。ホームページへの掲載も検討します。

(連絡先) akrjnm@gmail.com

お知らせ

○理窓会情報の発信

理窓会の情報はフェイスブックや理窓会ホームページにて公開されており、イベント等の情報についてはこちらにもご覧ください。

○総会は書面開催の予定です

理窓会千葉支部では、例年八月の総会で県内理窓会員の交流を図ってきました。令和3年度の総会は新型コロナウイルス感染拡大のため、昨年同様書面総会の予定です。ワクチン接種が進み、感染状況が改善して事態が落ち着けばまた会合を開くことができると思います。今後の活動の見通しについては、都度理窓会ホームページに案内が掲載される予定ですのでご注意ください。

○情報をお寄せください

総会等のイベント以外にも、理窓会員の様々な情報を、本会報を通じて紹介したいと思えます。活動報告や表彰、褒章をはじめ、訃報についても情報をお寄せいただければ幸いです。紙面の限り掲載させていただきます。

事務局会計係より

本支部教職員部会の運営・活動に必要な経費は、全て会員の皆様方の年会費に頼っております。本年度も、年会費お一人様千円を同封の振込用紙にて納入下さいますようお願い申し上げます。(終身会員の方は結構です。尚、終身会員は一人様二万円です) 納入方法は、同封の振込用紙(大きな郵便局ではATMでも利用できます)でお願いします。同窓生が複数おいでになる職場では、まとめて振り込んで下さるようお願い致します。その際、振込用紙の通信欄に、納入者全員のお名前をご記入下さい。尚、振込票を領収書の代わりとさせていただきます。ご不明な点がございましたら、会計係までご連絡下さい。(連絡先)

柏中央高校 石田 俊介
電話〇四(七二三三)三二四一



事務局会報係より

皆様のご協力により、第五十号を発行することができました。お忙しい中にも関わらず、原稿をお寄せいただいた方々に、心より厚くお礼申し上げます。

本会報は、皆様の原稿により成り立っております。記事のご希望やご意見ご感想等をお待ちしております。また各方面でご活躍されている千葉県教職員の理窓会員で、是非皆さまに紹介したい取り組みなどがありましたら自薦他薦は問いませんのでご連絡ください。

部数・お名前間違いや、会報が届かない等ございましたら、会報係までご連絡下さい。(連絡先)

茂原高校 石井 一喜
電話〇四七五(二二)四五〇五



編集後記

本年度、会報発行を担当させていただきました東葛飾高校の明間です。今年度は新型コロナウイルス感染拡大予防のため、予定されていた活動の多くが実施できませんでした。そのため、会報も例年より縮小して作成することになりました。楽しみにして頂いた方にはお詫びを申し上げるとともに、原稿をお寄せいただいた方々に、厚く御礼を申し上げます。

今年度は、新型コロナウイルスによる影響を大きく受けた一年となりました。学校行事や部活動の制限、オンライン学習の活用など今までとは異なる教育活動が求められてきました。

授業はグループワークや実験が制限され、学校行事は中止や規模縮小を余儀なくされ、部活動は大会の中止や活動時間の短縮と、苦勞した方も多いと思います。

理窓会のメンバーは同様の悩みを抱えていると考えられます。オンラインによる面白い教育活動の試み、学校行事や部活動における工夫など、学校・校種を超えて情報共有をし、協力しながら、この難局をともに乗り越えていけたらと考えます。